

■高校野球のケーススタディー（第10回）■



一般財団法人兵庫県高等学校野球連盟

高校野球における公式試合や練習試合の中で生じたプレイの中で、“こんなプレイ、ルールではどうなるの？”といった疑問について、ルールの側面から解説します。

○ タイムプレイのとき、3塁走者が本塁を空過しましたが・・・

昨年の練習試合で実際に起きたプレイです。

1 死満塁で打者が放った打球はセンターフライ。2、3塁走者は正しくリタッチ（触塁）を行い、次塁へタッグアップ。飛球をダイレクトで捕球した中堅手は、2塁走者をアウトにしようと3塁へ送球。2塁走者は、3塁でタッグされアウト（第3アウト）になりましたが、2塁走者がアウトになる前に3塁走者は本塁を通過していました。

（※3塁走者は、本塁の触塁を果たしておらず、空過していました。）

球審は、第3アウトの前に3塁走者が本塁を通過していたため、タイムプレイで得点1を明示したようですが・・・

第3アウトの前に本塁を通過（空過）した場合、得点は認められるのでしょうか。

もし、3塁走者が空過に気が付き、本塁を踏み直しに戻った場合は、どうなるのでしょうか。

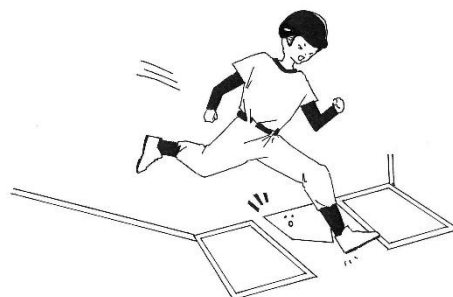
それでは、3塁走者が本塁を空過した後、①踏み直しに戻らなかった場合と②踏み直しに戻った場合に分けてそれぞれ考えてみましょう。

① 3塁走者が本塁を空過し、踏み直しに戻らなかった場合

第3アウトがフォースアウト以外のアウト（タッグアウトなど）で、そのプレイ中に他の走者が本塁に到達した場合、審判員は、その走者にアピールプレイが残っているか否かに関係なく、本塁の到達の方が第3アウトより早かったか否かを明示しなければなりません。（タイムプレイ・規則 5.08(a)【注1】）

このケースでは、2塁走者の3塁でのタッグアウト（第3アウト）よりも3塁走者の本塁での通過（空過）が早いので、審判員は、タイムプレイの判定により得点が入ったことを明示することになります。

なお、3塁走者は本塁到達後、一旦ダッグアウトに入ってしまうと、踏み損ねた本塁を踏み直しに戻ることはできません。

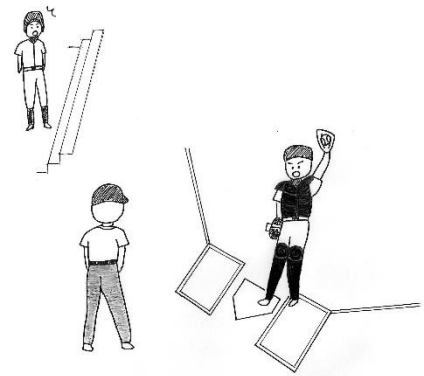


ここで、捕手が3塁走者の本塁空過をアピールすれば・・・得点はどうなる？

このプレイでは、守備側にはアピール権が残っていますので、捕手がボールを保持し本塁に触れ、走者の空過をアピールし、これを審判員が認めれば得点は取り消されることになります。(規則 5.09(b)(12)、5.09(c)(4))

ただし、アピールは、守備側チームのプレーヤーが競技場を去るまでに行わなければなりません。すなわち、投手および内野手がベンチに向かうためにフェア地域を離れるまでにアピールを行わなければアピール権は消滅し、得点が記録されることになります。(規則 5.09(c))

なお、試合終了の場合には、両チームが本塁に整列した時点でアピール権が消滅することになります。(規則 5.09(c)【注3】)



② 3塁走者が本塁を踏み直しに戻った場合

この場合は、本塁を踏み直した時点（実際に到達した時点）でのタイムプレイとなりますので、2塁走者が3塁でタッグアウト（第3アウト）になった後、3塁走者が本塁に触れば得点は認められません。(規則 5.08(a))

プレイの流れに沿って見ると、このプレイでは、審判員は、まず3塁走者が本塁を通過（空過）した時点が、第3アウトよりも早ければ得点が入ったことを明示することになります。

この後、3塁走者が本塁を踏み直しに戻れば、実際に本塁に触れた時点でタイムプレイを判断することになり、触塁が第3アウト後であれば、先の通過時点で明示した得点の判定を変更し、得点を取り消すことになるのです。

表題デザイン・イラスト協力：兵庫県立姫路工業高等学校デザイン科
飛田 紀香さん（3年）
坂田 朋葉さん（3年）